

## バラ苗の新品種開発による高付加価値化

事業名：経営構造対策事業（平成16年度認定）  
 地区名：岐阜県大野町大野地区  
 事業主体：大野町  
 管理主体：大野町バラ苗生産組合  
 施設名：産地形成促進施設 1棟 97m<sup>2</sup>（H16）  
 特認事業 バラ育種施設 1棟293m<sup>2</sup>（H16）  
 事業費：51,545千円（国費：25,772千円）

### 1. 組織の概要

- (1) 組織名：大野町バラ苗生産組合  
 (2) 構成員：組員 15名  
 (3) 設立年月日：平成2年3月22日  
 (4) 業務内容等：バラ苗の調査研究及び、農業経営の安定向上に関すること。  
 情報の提供及び交換。  
 各種研修会の開催。  
 地域農業振興のための農政活動。  
 関係機関との連携活動。  
 農業後継者及び新規就農者の育成指導。
- (5) 連絡先：いび川農協大野管理センター  
 岐阜県揖斐郡大野町大字相羽661番地  
 0585-32-3500

### 2. 取組計画概要

- (1) 施設導入計画  
 大野町はバラ苗生産日本一を誇っているが、多くが受託生産であり、直接的な農業者の経営安定に結び付いていないのが現状である。又、生産されたバラ苗の多くが業者に納入されるため、産地としての顔が消費者に認識されておらず、産地としてのブランド化が定着していない。近年は産地間競争も激化しており、生産コストの低減等の追求だけではギリ貧となり、農業者の農業に対する意欲低下や、将来における担い手不足、バラを主体とした地域農業振興への影響が懸念される。  
 新品種開発による高付加価値化と、生産性の高い農業を実現するため、担い手を確保・育成し、生産者と消費者が交流する場所を設け、大野町のバラについて消費者の理解を深め、販売の増加につなげて行く必要にせまられている。

### (2) 取組計画概要

バラ苗の受託生産中心から脱却し、独立・安定した農業生産構造に変革していくため平成15年度から経営構造対策推進事業を実施し、バラの新品種開発と供給により産地のブランド化を図るため平成16年度に育種施設を整備する計画となった。安定的な農業経営を実現するためには、育種施設での新品種開発に加え、付属棟での技術研修と地域の交流活動を通して新たな販売戦略の構築を行う必要があった。新たな生産構造の確立により生産者の安定した経営の確立を目指している。  
 目標への取組みは大野町と地域マネージャーが中心となり、関係機関・団体の協力のもと認定農業者の育成、遊休農地の解消、新規就農者の確保、女性起業活動の促進に努めている。また、バラ苗のブランド化に取組み、高品質の苗を生産・供給し、消費者ニーズに対応した産地づくりについても一層の推進を図っていく。

### 3. 目標設定

#### (1) 全国共通目標

認定農業者の育成					遊休農地の解消		地域提案目標 (新規就農者の確保)		
計画時 (人)	目標 (人)	増加率 (%)	市町村目標 率(%)	地区目標 割合(%)	計画時 (ha)	目標 (ha)	計画時 (人)	目標 (人)	増加率 (%)
29	36	124.1	2.4	2.4	0.0	0.0	3	4	133.3

#### (2) 地区選択目標

女性起業活動の促進		新品種の開発	
計画時(人)	目標(人)	計画時(品種)	目標(品種)
1	2	0	2

#### 施設整備予定地

バラ育種施設



産地形成促進施設(左)

